

へその緒通信

春夏号



題字・絵 / とださちえ

東京都葛飾区東金町 4-3-13 FAX03-3607-0016 <http://heso-no-o.jp/>

子育てはおなかの中から！ NPO 法人「へその緒の会」です。

今回のへその緒通信は、お子さんと通じ合うために
4月から始まる同調ワークに焦点を合わせ、
当会で講師をしている 山内ちえこさんにインタビューをしました。

「たましいをつなぐ同調ワークⅠクラス」は
子育て中（0～6才）のママ・パパ向け（お子さん連れをおすすめ）

「たましいをつなぐ同調ワークⅡクラス」は
妊娠中のプレママ・プレパパ向けとなっています。

Q 生まれた赤ちゃんは、アイコンタクトなんかもあって、まだ何とかなる気がします。それでも、まだしゃべらない子とコミュニケーションとるので、難しそうですね。まして、おなかの赤ちゃんとも、お話ができるなんて、神わざかっておもいますが、、、。

A 言葉はとても便利なもので、大事なものです。私たちは言葉でコミュニケーションをとっているつもりになっていますが、言葉によるコミュニケーションはその一部であって、直接対面してお話をする場合言葉意外の感覚も駆使してコミュニケーションをとっているのです。無意識に使っている回路に気づき、その感覚を目覚めさせていく事で、受け取る力がついていきます。

Q 受け取る力だけですか？

A 受け取る力と、こちらから伝える力どちらも、高めることが出来ますよ。



ではこの続きは、中面で、、、。

▲同調ワークのひとつコマ、中央が山内ちえ子講師

「たましいをつなぐ同調ワーク」 講師 山内ちえ子さん にインタビュー

Q 今回から名称が「たましいをつなぐ同調ワーク」と変わりましたが「たましいをつなぐ」を具体的に。

A 私たちはリアルな身体と「目に見えないからだ」で成り立っています。目に見えないからだは身体は、生きている間はつながって一体でいます。目に見えないからだは「エネルギー体」とも言い、私たちが生まれてくることを決め、この人生のかじ取りをしている <たましい> です。(池川明先生の書籍にも書かれています)

たましいは、生きている間に影響を受けた考えや気持ち、ではなく 本当の思い、真実で生きていて、身体の自分が本当の思いからズレ始めると いろいろなサインを出して、真実の道へ戻るよう知らせてきます。

赤ちゃんから幼児期は、たましいで物事を受け取る時代(身体の意識が小さいので)です。たましいは真実を軸にしているので、大人のウソが見抜けたり、大人の自分勝手な感情で、怒られたり関わられたりすることに反発します。

でも、たましいの思い(真実)に基づいて関わろうとすると反発せず、ちゃんと受け取ってくれます。大人は生きている間にこのやり方を忘れていくので、思い出す必要があります。本当の思いで関わる、これが、<たましいとつながる>ということです。

このような関わり方を「たましいをつなぐ」としました。

Q なんだかとても特別なことのように感じるのですが？

A いえいえ、そんなことはありません。実は大人たちも、たましいの思いで関わることをやれているのです。

ただ、時々しかやれていないので 気に留めていなかったり、たましいの意識がないと認知できないだけです。本当は誰でも、誰にでも、できることです。

Q 子どもと一緒にワークを受けることのメリットは？

A 先にも書きましたが、子どもたちのほうがたましいとの対話、会話がしやすいのでワーク中、親御さんよりも先にできたりします。

自分ができると、態度で示し教えてくれてワークの進行を助けてくれます。

実際、今まで参加してくださった方のお子さんがそうしてくれた場面を、その時の参加者の方と何度も経験しています。

Q 同調ワークを受けると子ども以外(夫や親、兄弟など)とのコミュニケーションにも役立ちますか？

A はい、もちろんです。いつでも、誰でも、誰にでも役に立ちます。相手が変わっても、関わり方のコツをつかんでいけば大丈夫です。

(聞き手: えだひろみ)



参加者の声

まだ下の娘が1歳にならない頃だったと思います。目の前で山内さんが電卓で計算されるのを見て思わず娘の手が伸びました。普段の彼女はやりたいことは必ずやる、興味津々にいろいろなもので遊び、止めさせようとしても納得するまで止めることはありませんでした。

そんな状態でしたが、山内さんが「やめとこうか。(心の中では、「触りたいよね〜わかるよ〜だけど、今から使いたいんだ私」と、子ども扱いせず人として同等という思いで語りかけていたそうです)」と優しく伝えると、スーッと手を引いたのです。それから娘が電卓に手を出すことはありませんでした。目の前で山内さんが触っているいもかかわらず。

普段なら絶対にありえないことだったので、物凄くびっくりしました。あの時のことは衝撃的で忘れられません。

同調ワークで学んだことは今でも生活の中に活かされています。ぐずった娘を相手に、最初は面倒くさいな〜と思っていたことも「山内さんならここでどうされるだろう?？」と自分に問い同調ワークを思い出し気持ちを伝えるようにしています。山内さんにお会いできたお蔭で、平和な親子生活を送ることができています。(Mさん談)



Yamauchi Chieko

ひとこと message

私にとって妊娠、出産は、言葉が話せなくても通じあう、わかり合える素晴らしい体験の連続でした。子育てを通して、いのちはつながっていることを学び、私たちの人生には多くの意味があることに気づいていきました。

そんな中で、この気づきが確信に変わったのは、スポーツライオンズラクターの仕事をしている時の、重度障害を持つ乳児との出会いです。産婦人科医で大脳生理学者の大島清先生から学んだ「おなかの中から三歳までが大事」「楽しいと感じることを活かして研究実践したところ、驚くような結果が出たのです。

これがかっかけとなり、国内外で音楽療法、水中と陸で行う心と身体セラピーを学び、おなかの中から始める心と身体の発育発達(療育)と親世代のケアプログラムのワーク確立を目指しました。

「誰もが楽しく、笑顔になる」を motto に、いのちと向き合う多くの場で精神性の大切さに気づき五感体験の豊かさ、たましい・心・身体を健やかにするワークをまとめた。そのワークの一つ、言葉を持たなくてもわかり合える「同調のワーク」を使い、おなかの中の赤ちゃんとうわり合う子育てセッションの機会を増やして行く間に、胎内記憶の研究をしている池川明先生との出会いがあり、出産直後の赤ちゃんとお母さんの疲れを解放するセッションも始めました。

この経験から、ますます「おなかのからの子育て」は大切だと実感しています。

現在は、会社を設立し、健康や教育・人生や仕事などの相談やセラピー・コンサルティングワークを行っています。



4～7月の講座案内

会場は虹のへや（葛飾区東金町2-25-12）

◆たましいをつなぐ同調ワーク 講師 山内ちえ子

4/16(火) 5/14(火) 6/11(火) 7/2(火)

Iクラス 9:30～10:15 子育て中(0～6才)のママ・パパ向け
(お子さん連れをおすすめします)

IIクラス 10:30～11:30 妊娠中のプレママ・プレパパ向け

各クラス定員8人
お子さんの好きなおもちゃなどはお持ち下さい。おやつ不可。

- 参加費：(特別価格)1回 会員2000円 非会員3000円
(ペア参加)1回 会員3000円 非会員4000円



◆おなかの中からの子育て・胎教レッスン 講師 浅井あきよ

4/23(火) 5/21(火) 6/18(火) 7/16(火)

9:30～11:00

- 参加費：1回 胎教サポートコース受講者 1000円
会員2000円 非会員3000円

☆胎教通信コースは「へその緒の会」会員向けです。
入会と同時に胎教サポートコースに申込みことができます。

- 胎教通信コース、月額2000円
(現在、実質月々ゼロ円で、サポートコースが受けられる、研究協力員を募集しています。)

一般会員	入会金 5000円 年会費 3000円	会の趣旨に賛同する会員です。 会主催の講座やイベントに会員割引価格で参加できます。 入会から1年間有効
------	------------------------	---

□申込窓口：<http://heso-no-o.jp/> 申し込みフォームまたは
madoguti@heso-no-o.jp または FAX03-3607-0016

- 申込方法：「講座名、お名前」を件名に書いて、メールまたはFAXにて
- 記入内容：「講座名、講座日、お名前(ふりがな)、同伴参加者名(あれば)
メールアドレス、電話番号(ケータイ可)、ご住所」以上必須
会場案内の要・不要、紹介者または何で知ったかなど、も書いてください。
- 締め切り：各講座とも締め切りは一週間前(同じ曜日の正午)または定員に達し次第。

♥大橋里恵助産師の「ベビーマッサージ」「いのちの話」出前講座いたします。ご相談ください。



東江幼稚園「赤ちゃんといっしょ」講師 浅井あきよ

5月16日(木)、6月6日(木)、7月4日(木) いずれも9:30～10:45/1000円
申し込みは東江幼稚園 03-3607-0548